

2017年5月号

発行：日本共産党粕江市議団

連絡先：市議会控室3430-1177

日本共産党粕江市議団の活動をご紹介します。

## ひとり親家庭への家賃補助

## 大学生等への給付型奨学金

## 防災無線の戸別受信機貸出

# —日本共産党市議団が予算組み替え提案—



### 3月予算議会

## 介護報酬引上げ、介護利用料軽減も提案

### 管理職手当引上げなど不要不急の予算は減額

### —自民、公明など提案に反対、原案可決—

3月28日の本会議で市

長提案の来年度予算が審

議され、一般会計予算（総額約267億円）が自民、公明などの賛成多数で可決されました。日本共産党市議団は、鈴木えつお議員が予算の編成替え動議を提案、市民の切実な願い実現に奮

闘しました。

市長提案の予算は、保育園の待機児解消など市民要望に応える施策もあるものの、貧困と格差が広がる中、市民生活への支援等が不十分です。そのため動議では、ひとり親家庭への家賃補助や大学生等への給付型奨学金、防災行政無線が家の中で聞こえる戸別受信機の貸出し、また介護保険利用料の軽減、要支援の方への認定ヘルパー研修の充実、100歳以上の方への敬老金の支給、自宅にお風呂のない高齢者・障がい者世帯への入浴券交付事業の所得制限撤廃などを求めています（左表）。

る負担があり個人情報漏えいの危

険もあり中止すること。③ラ・フォル・ジュルネ音楽祭（約1200万円）と花火大会（約3000万円）の同時開催（平成30年度）は、



職員負担や市財政への負担が過大であり音楽祭を延期することを求めています。

田中とも子議員は「動議は原案の弱点を補い市民の切実な願いを実現するもの」と動議に賛成し原案に反対する討論を行いました。動議は、自民、公明などの反対多数で否決され原案が可決されましたが、ひきつづき、これら施策の実現に頑張ります。

## 介護報酬15%アップを提案—総合事業

要支援1・2の方を介護保険からはずし市の総合事業に移行させ

る介護保険会計について日本共産党市議団は、介護報酬を原案より15%アップする予算編成替え動議を提出しました。



組替え動議賛成の討論を行う田中とも子議員



予算組み替え提案を行う鈴木えつお議員

同時に原案にある①管理職手当引上げは厳しい市民生活に配慮し中止すること。②証明書のコンビニ交付は年一千万円を超え



介護事業所のデイサービス事業

介護事業所を訪問し実情を聞く（写真左）

党市議団は昨年秋、市内6カ所の介護事業所を訪問、聞き取り調査を行いました。その中でこれまで報酬が削られてきた中、総合事業で報酬がさらに減らされるなど切実な声が寄せられ報酬のアップをくりかえし求めてきました。しかし市長提案の原案では介護報酬が現行より20%～30%削減されました。そのため動議では、事業所運営の安定化と介護の質の維持向上のため、介護報酬を原案より15%アップすることを求めています。報酬アップによる市財政への負担増も131万円とわずかです。

## 教育研究所を建替え



## 子ども家庭支援センター、児童発達センター合築へ

粕江駅北口近くにある教育研究所（写真）が平成31年度に建替えられ、子ども家庭支援センターと児童発達支援センターを合築し、子育て・教育支援の複合施設が整備されることになりました。地上3階建てで延床面積は約3倍になります。

子ども家庭支援センター（岩戸児童センター内）の移転先だった仮園舎（東和泉）が、障がい者の作業所の移転先となつたため、今回、複合施設という形で同センターの移転先を定めたものです。また新たに児童発達支援センターも整備されることになりました。それぞれの施設が充実したものになるよう頑張ります。

動議は自民、公明などの反対多数で否決されましたが、ひきつづき切実な介護報酬のアップを求めてがんばります。

### 一般会計予算の組み替え提案

### —2017.3 日本共産党市議団—

（単位：万円）

#### ●総務費関係

- (1) 管理職手当引上げ中止 (△409)
- (2) ラ・フォル・ジュルネ音楽祭延期 (△829)
- (3) 証明書コンビニ交付事業を中止 (△1989)

#### ●民生費関係

- (1) 100歳以上への敬老金の支給 (40)
- (2) 高齢者・障がい者への入浴券交付事業の所得制限撤廃 (45)
- (3) ひとり親家庭への家賃補助実施 (500)
- (4) 介護保険利用料の低所得者軽減 (750)
- (5) 要支援の認定ヘルパー研修を充実 (65)

#### ●消防費関係

- (1) 防災行政無線の戸別受信機貸出し制度の

#### 創設 (650)

- (2) 感震コンセント購入費の助成 (180)
- (3) 家具転倒防止器具の設置助成 (420)

#### ●教育費関係

- (1) 大学生向け給付型奨学金制度創設 (120)

\*財源不足額 992 万円は、財政調整基金の繰り入れで対応。











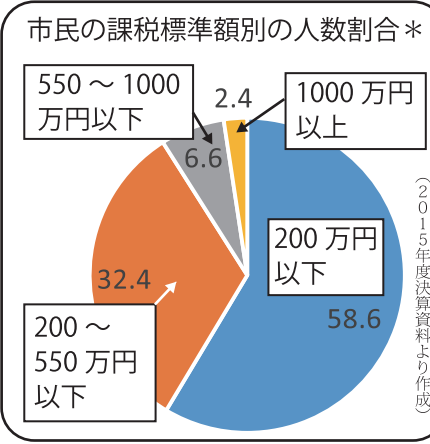
# 管理職手当引上げに反対、日本共産党が修正案

「類似団体で1～2位の高さになる。市民生活の実態に配慮を」

管理職手当の改定案と引上げ後の類似団体での順位

役職	現行	改定案	引上額	順位
部長	93,000	103,000	10,000	2
理事	82,000	91,000	9,000	1
課長	71,000	76,000	5,000	2
主幹	71,000	71,000	0	1
課長補佐	55,000	62,000	7,000	1

\*類似団体とは人口や産業構造が類似している市のこと。表では市の資料に基づき粕江、国立、福生、東大和、清瀬、武蔵村山、稲城、羽村、あきる野の9市で比較している。



\*課税標準額は、所得から社会保険料控除、扶養控除など差引いた額



3月議会では、市長提案の職員給与条例の一部改正案が審議されました。これは、都人事院勧告に基づく給料改正等とともに、市独自の判断による管理職手当の引上げ（総額年約460万円）が含まれています（左表）。

根拠になりません。粕江市と同規模の類似団体と比較すると現行でも「大きな差はない」（職員課長）状態で、引上げると粕江市は1～2位の高さになってしまいます。また粕江市の管理職の年間給与と総額は900万円～1100万円余であり、市民の所得階層の中でも高位にあります（グラフ）。

## 自民、公明など反対否決

日本共産党は、管理職手当の引上げ中止の修正案を提出、鈴木えつお議員が提案し、西村あづ子議員が修正案に賛成し原案に反対する討論を行いました。しかし自民、公明、生活ネ、民進、三宅・山田・辻村議員が反対し否決され、原案が可決されました。

## 低所得世帯にさらに負担もたらす 国保税増税に反対—日本共産党

宮坂良子議員が討論  
3月議会では国保税値上げを含む国民健康保険会計の採決が行われ、共産党と社民党が反対しましたが、自民、公明、生活ネ、民進などの賛成多数で可決されました。



宮坂良子議員が討論  
3月議会では国保税値上げを含む国民健康保険会計の採決が行われ、共産党と社民党が反対しましたが、自民、公明、生活ネ、民進などの賛成多数で可決されました。

## 国保会計は赤字でなく値上げ必要なし

宮坂良子議員が討論  
3月議会では国保税値上げを含む国民健康保険会計の採決が行われ、共産党と社民党が反対しましたが、自民、公明、生活ネ、民進などの賛成多数で可決されました。

3月の予算委員会で日本共産党市議団は、鈴木えつお議員が、市民センター利用者の駐車料金軽減を求めました。総務課長は「運営事業者に無料措置対象者の範囲について検討をお願いしたい」と答え、タイムズに対して、市民センター利用者の駐車料金軽減を要請していることを明らかにしました。

## 市役所前歩道に点字ブロック 視覚障がい者団体が長年要望



## 平井里美さんが市長選で公約 日本共産党市議団も繰り返し要求

3月16日、市役所前歩道（都道）に都が点字ブロックを設置しました（写真）。設置されたのは、市役所前交差点→市役所出入り口→市民センター前交差点までと、粕江通りをはさんで反対側のローソンの歩道で市役所前交差点→市民センター前交差点→市役所前ハス停まで。

点字ブロックの設置・改修については視覚障がい者団体が長年要望してきました。なかなか実現しない中、昨年の市長選で平井候補が公約にかかげ、日本共産党も繰り返し求めました。

## 市役所駐車場の有料化問題

## 市民センター利用者の料金がタイムズに軽減を要請

2年前、市役所駐車場が有料化されて以来、「荷物が重いため車は欠かせないので公民館使用中は無料にしてほしい」「駐車場が有料になり用具の重いグループ活動に参加できなくなった」「足の弱い仲間が出ていくなかった」など切実な声が出されています。ひきつづき実現にがんばります。

## 無料法律生活相談

- 毎月第1火曜日…午後1時～4時
- 市役所3階 日本共産党市議団控室
- \*市議・弁護士が相談をお受けします。
- \*お申し込みは3430-1177（団控室）か各市議へ

